#### 令和5年度

# 東京都福祉サービス第三者評価職員自己評価結果

社会福祉法人 生光会 養護老人ホーム 長安寮

評価機関 有限会社エテルノ

#### 結果の見方

①リーダー 回答者属性がリーダー

②一般(参加あり) 回答者属性が一般で定例会議に参加されている方

③一般(参加なし)回答者属性が一般で定例会議に参加されていない方

(1)と②の差 リーダーと②一般の「できている」と答えた差

一般(O年以内) 回答者属性が一般でかつ在職年数以内の職員

そう思う 標準項目の質問に明確な根拠があって判断した方

または、根拠はないが心情的に肯定した方

そう思わない 標準項目の質問に根拠もなく心情的にも肯定できない方

わからない 標準項目の質問に対して、わからない方

### 記号の見方

○ そう思うと答えた方が80%以上

そう思うと答えた方が60%以上80%未満

△ そう思うと答えた方が60%未満

☀ リーダー層と②一般層の差が20%未満である場合

● リーダー層と②一般層の差が20%以上40%未満である場合

☆ リーダー層と②一般層の差が40%以上である場合

## 社会福祉法人 生光会 養護老人ホーム 長安寮 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

	1	リーダ	`—	2-#	设(参加を	あり)	1) と
標準項目	そう 思う	そう 思わ ない	わからい	そう 思う	そわい	わからい	②の 差
1-1-1事業所が目指しているで ど)を周知している	こと (	理念	・ビシ	<b>ジョン</b>	、基本	本方針	な
1-①事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本	4	0	0	8	1	3	
方針など)について、職員の理解 が深まるような取り組みを行って	100%	0%	0%	67%	8%	25%	
いる		0			0		33%
1 - ②私は、事業所が目指してい	4	0	0	8	2	2	
ること(理念・ビジョン、基本方針など)を理解できている	100%	0%	0%	67%	17%	17%	
ずることを注解しるといる		0			0		33%
2事業所は、事業所が目指しているこ	3	0	1	4	4	4	
と(理念・ビジョン、基本方針など) について、利用者本人や家族等の理解	75%	0%	25%	33%	33%	33%	J
が深まるような取り組みを行っている		O			$\triangle$		42%
1-1-2経営層(運営管理者含むて表明し、事業所をリードして	-		の役害	りと責	任を関	載員に	対し
1 一①事業所では、事業所が目指 していること(理念・ビジョン、	4	0	0	7	2	3	
基本方針など)の実現に向けて、 経営層が自らの役割と責任を職員	100%	0%	0%	58%	17%	25%	J
に伝えている		0			$\triangle$		42%
	3	0	1	7	2	3	
1ー②私は、経営層の役割と責任 を理解できている	75%	0%	25%	58%	17%	25%	/ <b>T</b> \
		O			$\triangle$		17%
2事業所では、事業所が目指している こと(理念・ビジョン、基本方針な	4	0	0	7	1	4	
ど)の実現に向けて、経営層が自らの役割と責任に基づいて職員が取り組む	100%	0%	0%	58%	8%	33%	J
べき方向性を提示し、リーダーシップ を発揮している		0			$\triangle$		42%

	1	リーダ	`_	2-1	3(参加を	あり)	1) と
標準項目	そう思う	そ思な	わからい	そう思う	そ思ない	わない	②の 差
1-1-3重要な案件について、終まえて意思決定し、その内容を		を踏					
   1事業所では、重要な案件の検討	4	0	0	9	Ο	3	
や決定の手順があらかじめ決まっ	100%	0%	0%	75%	0%	25%	
ている		0			0		25%
2一①事業所では、経営層が重要	4	0	0	9	3	0	
な意思決定に関し、その内容と決 定経緯について職員に周知してい	100%	0%	0%	75%	25%	0%	
る		0			0		25%
2-②私は、経営層から、重要な	3	0	1	8	თ	1	
意思決定に関して、その内容と決   定経緯を知らされている	75%	0%	25%	67%	25%	8%	- <b>-</b> -
た 性 は な れ り ら れ  こい  る		0			0		8%
3事業所では、利用者等に対し、	4	0	0	7	3	2	
重要な案件に関する決定事項につ いて、必要に応じてその内容と決	100%	0%	0%	58%	25%	17%	
定経緯を伝えている		0			$\triangle$		42%

カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 サブカテゴリー1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を 抽出している

	1	リーダ	`—	2-A	设(参加で	あり)	①Ł
標準項目	そう思う	そう 思わ ない	わからい	そう 思う	そう 思わ ない	わからない	②の 差
2-1-1事業所を取り巻く環境に 抽出している	こつい	て情	報を抵	湿握•	検討し	ノ、課	題を
1事業所は、利用者アンケートな	4	0	0	9	1	2	
ど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収	100%	0%	0%	75%	8%	17%	
集し、ニーズを把握している 		0			0		25%
	3	1	0	4	5	3	
2事業所は、事業所運営に対する 職員の意向を把握・検討している	75%	25%	0%	33%	42%	25%	
		0			Δ		42%
	3	0	1	6	3	3	
3事業所は、地域の福祉の現状に   ついて情報を収集し、ニーズを把	75%	0%	25%	50%	25%	25%	
握している		0			Δ		25%
4事業所は、福祉事業全体の動向	3	0	1	9	1	2	
(行政や業界などの動き)につい  て情報を収集し、課題やニーズを	75%	0%	25%	75%	8%	17%	
把握している		0			0		0%
	2	0	2	7	1	4	
5事業所は、事業所の経営状況を  把握・検討している	50%	0%	50%	58%	8%	33%	-,-
		Δ			$\triangle$		8%
	ത	0	1	8	1	3	\ <u>\</u>
6事業所は、把握したニーズ等や  検討内容を踏まえ、事業所として	75%	0%	25%	67%	8%	25%	77
対応すべき課題を抽出している		0			0		8%

#### サブカテゴリー2 実践的な計画策定に取り組んでいる

	1	リーダ	`—	2-A	设(参加る	あり)	1) と
標準項目	そう 思う	そう 思わ ない	わか らな い	そう 思う	そう 思わ ない	わか らな い	②の 差 上
2-2-1事業所が目指していること(理:中・長期計画及び単年度計画を策定して)		ジョン、	、基本	方針なの	ど) の	実現に向	けた
1事業所は、課題をふまえ、事業 所が目指していること(理念・ビ	3	0	1	7	1	4	
ジョン、基本方針など)の実現に 向けた中・長期計画を策定してい	75%	0%	25%	58%	8%	33%	- <b>,</b> -
3		0			Δ		17%
	4	0	0	6	0	6	
2事業所は、中・長期計画をふま   えた単年度計画を策定している	100%	0%	0%	50%	0%	50%	J
		0			$\triangle$		50%
	2	0	2	8	0	4	->
3事業所は、策定している計画に 合わせた予算編成を行っている	50%	0%	50%	67%	0%	33%	7
		Δ			0		17%
2-2-2着実な計画の実行に取り	り組ん	でい	3				
1事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)	2	1	1	9	0	3	
の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目	50%	25%	25%	75%	0%	25%	
指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		$\triangle$			0		25%
2事業所は、計画推進にあたり、	2	0	2	7	1	4	
進捗状況を確認し(半期・月単位 など)、必要に応じて見直しをし	50%	0%	50%	58%	8%	33%	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
ながら取り組んでいる		$\triangle$			$\triangle$		8%

#### カテゴリー3 経営における社会的責任

サブカテゴリー1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

	1	リーダ		2-8	3(参加を	あり)	ا ع (1)
標準項目	そう 思う	そう 思わ ない	わない	そう思う	そう 思わ ない	わか らな い	②の 差
3-1-1社会人・福祉サービスに 範・倫理などを周知し、遵守さ	スに従事する者として守るべき法・ されるよう取り組んでいる						
  1-①事業所は、全職員に対して、社  会人・福祉サービスに従事する者とし	4	0	0	7	1	4	
云穴・偏位り   しんに従事する自として守るべき法・規範・倫理(個人の尊)   厳を含む) などを周知し、理解が深ま	100%	0%	0%	58%	8%	33%	J
るように取り組んでいる		0			$\triangle$		42%
1 - ②私は、社会人・福祉サービ	4	0	0	10	1	1	
スに従事する者として守るべき 法・規範・倫理(個人の尊厳を含	100%	0%	0%	83%	8%	8%	- <b>,</b> -
む)などを理解できている		0			0		17%
2-①事業所は、全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個	3	1	0	8	0	4	
人の尊厳を含む) などが遵守され   るように取り組み、定期的に確認	75%	25%	0%	67%	0%	33%	
している		0			0		8%
2 一の利け、ウスペギは、坦答・	4	0	0	9	0	3	
2-②私は、守るべき法・規範・  倫理(個人の尊厳を含む)などを   遵守している	100%	0%	0%	75%	0%	25%	
ほってこの		0			0		25%

#### サブカテゴリー2 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

フラフラーラーと 作の自己 マケー にんり 強張 マケー こう		リーダ			设(参加を	あり)	①と			
標準項目	そう 思う	そう 思わ ない	わからい	そう思う	そう 思わ ない	わからない	②の 差			
3-2-1利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、 迅速に対応する体制を整えている										
  1-①事業所は、苦情解決制度を	3	1	0	7	2	3				
利用できることや事業者以外の相 談先を遠慮なく利用できること	75%	25%	0%	58%	17%	25%				
を、利用者に伝えている		0			$\triangle$		17%			
  1-②事業所には、利用者の意向	3	0	1	8	1	3				
(意見・要望・苦情)に対し、組	75%	0%	25%	67%	8%	25%	71			
織的に速やかに対応する仕組みが	13/6	070	2070	0170	070	20/0				
	10%	<u> </u>	2070	0170	O	2070	8%			
織的に速やかに対応する仕組みが		0			0	2370	8%			
織的に速やかに対応する仕組みがある 3-2-2虐待に対し組織的な防」 1事業所は、利用者の気持ちを傷		0			0	3	8%			
織的に速やかに対応する仕組みがある  3-2-2虐待に対し組織的な防」  1事業所は、利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が	上対策	〇世と対	心をし	ノてい	<u>ි</u>		8%			
織的に速やかに対応する仕組みがある  3-2-2虐待に対し組織的な防」  1事業所は、利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が	上対策		<b>心をし</b> 〇	てい 7	ර ති 2	3	8% 42%			
織的に速やかに対応する仕組みがある  3-2-2虐待に対し組織的な防」  1事業所は、利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している  2事業所は、虐待を受けている疑	上対策		<b>心をし</b> 〇	てい 7	ර ති 2	3	<b>T</b>			
織的に速やかに対応する仕組みがある  3-2-2虐待に対し組織的な防」  1事業所は、利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	上対策 4 100%	○ ○ ○ ○ ○ ○	<b>心をし</b> 0 0%	ノ <b>てい</b> 7 58%	る 2 17%	3 25%	42%			

サブカテゴリー3 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている 1リーダー ②一般(参加あり) 1) ك そう わか そう わか 標準項日 そう  $(2)\sigma$ そう 思わ 思わ らな らな 思う 思う 差 ない 61 ない 61 3-3-1透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 3 1  $\bigcirc$ 8 1 3 1事業所は、透明性を高めるため に、事業所の活動内容を開示する 75% 25% 0% 67% 8% 25% など開かれた組織となるよう取り 組んでいる 8% 4  $\cap$  $\cap$ 10  $\bigcirc$ 2 2事業所は、ボランティア、実習 牛及び見学・体験する小・中学牛 100% 0% 83% 0% 0% 17% などの受け入れ体制を整備してい る O(O)17% 3-3-2地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしてい 3 1 ()9  $\bigcirc$ 3 1事業所は、地域の福祉ニーズに もとづき、事業所の機能や専門性 75% 25% 0% 75% 0% 25% をいかした地域貢献の取り組みを している 0% 2事業所は、事業所が地域の一員 3 1  $\bigcirc$ 9 0 3 -)-としての役割を果たすため、地域 関係機関のネットワーク(事業者 0% 25% 0% 75% 75% 25% 連絡会、施設長会など)に参画し ている 0% 3 0 1 0 3 9 3事業所は、地域ネットワーク内 での共通課題について、協働でき 75% 0% 25% 75% 0% 25% る体制を整えて、取り組んでいる 0%

**カテゴリー4 リスクマネジメント** サブカテゴリー1 リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

_サブカテゴリー1_リスクマネジメ) 		リーダ			g(参加a	あり)	
標準項目	そう 思う	そう 思わ ない	わか らな い	そう 思う	そう 思わ ない	わからない	①と ②の 差
4-1-1事業所としてリスクマ	ネジメ	ント	こ取り	組ん	でいる	<b>3</b>	
1事業所は、事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク	4	0	0	9	0	3	
(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリス	100%	0%	0%	75%	0%	25%	
クに対策を講じるかについて優先順位 をつけている		0			0		25%
   2事業所は、優先順位の高さに応	4	0	0	9	0	3	
と事業がは、優九順位の高さに心して、リスクに対し必要な対策を   とっている	100%	0%	0%	75%	0%	25%	
C J CV18		0			0		25%
3事業所は、災害や深刻な事故等	4	0	0	11	1	Ο	\ <u>\</u>
に遭遇した場合に備え、事業継続 計画(BCP)を策定している	100%	0%	0%	92%	8%	0%	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
ine (BOF) を保定している		0			0		8%
4-①事業所は、リスクに対する 必要な対策や事業継続計画につい	ന	1	0	8	2	2	
で、職員、利用者、関係機関など に周知し、理解して対応できるよ	75%	25%	0%	67%	17%	17%	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
うに取り組んでいる		0			0		8%
4-②私は、リスクに対する必要	4	0	0	9	1	2	
な対策や事業継続計画について理解できており、自分の役割に応じ	100%	0%	0%	75%	8%	17%	
て対応できる		0			0		25%
5事業所は、事故、感染症、侵	4	0	0	10	0	2	->
入、災害などが発生したときは、 要因及び対応を分析し、再発防止	100%	0%	0%	83%	0%	17%	
と対策の見直しに取り組んでいる		0			0		17%

#### サブカテゴリー2 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

	1	リーダ	`—	2-A	8(参加る	あり)	(1)Ł
標準項目	そう 思う	そう 思わ ない	わか らな い	そう 思う	そう 思わ ない	わか らな い	②の 差 差
4-2-1事業所の情報管理を適切	加に行	い活	用でき	きるよ	うにし	ノてい	る
1-①事業所は、情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・	2	Ο	2	8	1	3	
ルールを定め、職員(実習生やボ ランティアを含む)が理解し遵守	50%	0%	50%	67%	8%	25%	/ <b>T</b> \
するための取り組みを行っている		$\triangle$			0		17%
  1-②私は、情報の収集、利用、	З	0	1	80	1	3	
保管、廃棄について規程・ルールを理解し遵守している	75%	0%	25%	67%	8%	25%	- <b>-</b> -
では時のほうのでいる		0			0		8%
2事業所は、収集した情報は、必	თ	1	0	00	2	2	
支事業別は、収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できる   ように整理・管理している	75%	25%	0%	67%	17%	17%	
みりに発圧・自圧している		0			0		8%
3事業所は、情報の重要性や機密	3	0	1	80	0	4	
性を踏まえ、アクセス権限を設定  するほか、情報漏えい防止のため	75%	0%	25%	67%	0%	33%	/ <b>-</b> \
の対策をとっている		0			0		8%
4事業所は、事業所で扱っている 個人情報については、「個人情報	2	0	2	9	0	3	
保護法」の趣旨を踏まえ、利用目 的の明示及び開示請求への対応を	50%	0%	50%	75%	0%	25%	
含む規程・体制を整備している		$\triangle$			0		25%

#### カテゴリー5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

		ul 🗝		(A)	∩ / <del>∠&gt;</del> +	F 10 \	
	(1)	リーダ		2-#	2(参加を		1) と
標準項目	そう思う	そう 思わ ない	わからない	そう 思う	そう 思わ ない	わない	②の 差
5-1-1 事業所が目指している	ことの	D実現	に必要	要な人	、材構	成にし	てい
	3	1	0	4	4	4	
1 事業所は、事業所が求める人材 の確保ができるよう工夫している	75%	25%	0%	33%	33%	33%	J
		0			$\triangle$		42%
2事業所は、事業所が求める人	3	0	1	6	2	4	
材、事業所の状況を踏まえ、育成 や将来の人材構成を見据えた異動	75%	0%	25%	50%	17%	33%	
や配置に取り組んでいる		0			$\triangle$		25%
5-1-2事業所の求める人材像に	こ基づ	き人	材育成	以計画	を策反	定して	いる
1-①事業所では、事業所が求め	0	3	1	5	3	4	
る職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職	0%	75%	25%	42%	25%	33%	J
員に分かりやすく周知されている		$\triangle$			$\triangle$		42%
1-②私は、事業所が求める職責	2	0	2	6	3	3	\_\
または職務内容に応じた長期的な 展望(キャリアパス)を理解でき	50%	0%	50%	50%	25%	25%	
ている		$\triangle$			$\triangle$		0%
2事業所は、事業所が求める職責	1	2	1	4	5	3	\ <u>\</u>
または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した	25%	50%	25%	33%	42%	25%	7
事業所の人材育成計画を策定して いる		Δ			Δ		8%

	1	リーダ	_	2-A	设(参加を	あり)	1) ك
標準項目	そう 思う	そう 思わ ない	わか らな い	そう 思う	そう 思わ ない	わか らな い	②の 差 上
5-1-3事業所の求める人材像を	を踏ま	えた	職員の	)育成	に取り	り組ん	でい
1 _ ① 東 类 正 计 数 数 形 能 厂 閱 4	4	0	0	10	1	1	\ <u>\</u>
1-①事業所は、勤務形態に関わ  らず、職員にさまざまな方法で研	100%	0%	0%	83%	8%	8%	- <del>-</del> -
修等を実施している		0			0		17%
	4	0	0	10	1	1	\ <u>\</u>
1-②私には、事業所から様々な 研修等の機会が与えられている	100%	0%	0%	83%	8%	8%	-,-,-
		0			0		17%
2-①事業所は、職員一人ひとり	2	2	0	5	4	3	\ <u>\</u>
の意向や経験等に基づき、個人別 の育成(研修)計画を策定してい	50%	50%	0%	42%	33%	25%	
る		Δ			Δ		8%
2-②私の育成(研修)計画は、	1	2	1	4	5	3	\ <u>\</u>
私の意向や経験等に基づいて策定	25%	50%	25%	33%	42%	25%	7
されている		$\triangle$			$\triangle$		8%
3-①事業所は、職員一人ひとり	1	2	1	6	2	4	
の育成の成果を確認し、個人別の 育成(研修)計画へ反映している	25%	50%	25%	50%	17%	33%	
月成(別修)計画へ及映している		$\triangle$			Δ		25%
3-②私の育成(研修)計画に	1	2	1	4	3	5	
は、事業所が私の育成の成果を確認した内容が反映されている	25%	50%	25%	33%	25%	42%	/ <u> </u> `
□□ ○/CN3円// 文保C1 ( C N の		Δ			$\triangle$		8%
4事業所では、指導を担当する職	3	0	1	4	5	3	
員に対して、自らの役割を理解し てより良い指導ができるよう組織	75%	0%	25%	33%	42%	25%	J
的に支援を行っている		O			$\triangle$		42%

	1	リーダ	`_	2-A	设(参加を	あり)	1) と
標準項目	そう 思う	そう 思わ ない	わからない	そう思う	そう 思わ ない	わからい	②の 差
5-1-4職員の定着に向け、職員	員の意	欲向.	上に取	又り組	んでし	いる	
1事業所は、事業所の特性を踏ま	2	0	2	4	2	6	
え、職員の育成・評価と処遇(賃  金、昇進・昇格等)・称賛などを	50%	0%	50%	33%	17%	50%	/ <b>-</b> `
連動させている		$\triangle$			$\triangle$		17%
2事業所は、就業状況(勤務時間	4	0	0	7	4	1	
や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して 働き続けられる時場づくのに取り	100%	0%	0%	58%	33%	8%	
働き続けられる職場づくりに取り  組んでいる		0			Δ		42%
3一①事業所は、職員の意識を把	3	1	0	6	2	4	
握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	75%	25%	0%	50%	17%	33%	
り飛りしている		0			$\triangle$		25%
3-②私はこの事業所の仕事につ	3	0	1	6	1	5	
いて、意欲と働きがいを持つことができている	75%	0%	25%	50%	8%	42%	
2 C C C C C C C C C C C C C C C C C C C		0			$\triangle$		25%
4-①事業所は、職員間の良好な	3	0	1	6	2	4	
人間関係構築のための取り組みを行っている	75%	0%	25%	50%	17%	33%	
17 7 6010		0			$\triangle$		25%
	4	0	0	5	2	5	
4-②私の職場では、良好な人間 関係が構築されている	100%	0%	0%	42%	17%	42%	J
		0			$\triangle$		58%

サブカテゴリー2 組織力の向上に取り組んでいる ②一般(参加あり) 1)リーダー 1) ك そう わか そう わか 標準項日 そう  $(2)\sigma$ 思わ 思わ らな らな 恵う 思う 差 ない 61 ない い 5-2-1組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促 進に取り組んでいる 4 0 10 2 0 0 1-①事業所は、職員一人ひとり が学んだ研修内容を、レポートや 100% 0% 0% 83% 0% 17% 発表等を通じて共有化している  $\bigcirc$  $\bigcirc$ 17% 4  $\bigcirc$  $\bigcirc$ 9  $\bigcirc$ 3 1-②私が学んだ研修内容は、レ ポートや発表等で報告し、職員間 100% 0% 0% 75% 0% 25% で共有化している (O)25% 2-①事業所は、職員一人ひとり 7 3  $\bigcirc$ 1 2 3 の日頃の気づきや工夫について、 互いに話し合い、サービスの質の 0% 25% 17% 75% 58% 25% 向上や業務改善に活かす仕組みを 設けている 17% 4  $\bigcirc$  $\bigcirc$ 7 2 3 2-2私の日頃の気づきや工夫に ついて、他の職員と互いに話し合 100% 0% 17% 0% 58% 25% い、サービスの質の向上や業務改 善に活かす機会がある 0 42% 1 3  $\bigcirc$ 3 3 6

0%

75%

50%

25%

25%

25%

25%

3事業所は、目標達成や課題解決 に向けて、チームでの活動が効果

的に進むよう取り組んでいる

## 社会福祉法人 生光会 養護老人ホーム 長安寮 カテゴリー6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリー1 サービス情報の提供

	1	リーダ	_	2-1	殳(参加を	あり)	1) と	
標準項目	そう思 う	そう思 わない	わから ない	そう思 う	そう思 わない		②の 差	
6-1-1利用者等に対してサービスの情報を提供している								
	3	1	0	4	4	4		
1.利用者が入手できる媒体で、事    業所の情報を提供している	75%	25%	0%	33%	33%	33%	J	
		0			Δ		42%	
2 利田老の特性な老虎し 担供す	3	1	0	5	3	4		
2.利用者の特性を考慮し、提供す  る情報の表記や内容をわかりやす  いものにしている	75%	25%	0%	42%	25%	33%		
10100120 (113		0			$\triangle$		33%	
	3	0	1	7	1	4	\ <u>\</u>	
3.事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	75%	0%	25%	58%	8%	33%	- <b>-</b> -	
		0			Δ		17%	
4 利田老の問い合わせか目営の亜	4	0	0	9	2	1		
4.利用者の問い合わせや見学の要   望があった場合には、個別の状況   に応じて対応している	100%	0%	0%	75%	17%	8%		
		0			O		25%	

#### サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

	1	リーダ	_	2— <del>1</del>	9(参加さ	あり)	1)と		
標準項目	そう思 う	そう思わない	わからない	そう思 う	そう思わない		① ②の 差		
6-2-1サービスの開始にあたり利用者等に説明し、理解を得ている									
   1.サービスの開始にあたり、基本	3	0	1	9	1	2	\ <u>\</u>		
的ルール、重要な事項等を利用者	75%	0%	25%	75%	8%	17%	71		
の状況に応じて説明している		0			0		0%		
	3	0	1	10	1	1	\ <u>\</u>		
2.サービス内容について、利用者の理解を得るようにしている	75%	0%	25%	83%	8%	8%	7		
		0			0		8%		
3.サービスに関する説明の際に、	3	0	1	5	2	5			
利用者や家族等の意向を確認し、   記録化している	75%	0%	25%	42%	17%	42%			
		O			$\triangle$		33%		

6-2-2サービスの開始及び終了 援を行っている	了の際	に、斑	環境変	化に対	がで	きるよ	う支
1.サービス開始時に、利用者の支	4	0	0	7	1	4	
援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握してい	100%	0%	0%	58%	8%	33%	J
る		0			Δ		42%
2.利用関松吉後には、利用老の不	3	0	1	7	1	4	
2.利用開始直後には、利用者の不  安やストレスが軽減されるように  支援を行っている	75%	0%	25%	58%	8%	33%	
文版を11 ) (いる		0			Δ		17%
	3	0	1	5	1	6	
3.サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている	75%	0%	25%	42%	8%	50%	
		0			Δ		33%
4.サービスの終了時には、利用者	4	0	0	10	0	2	
4.9   C   C   C   C   C   C   C   C   C	100%	0%	0%	83%	0%	17%	
出版 した又版で1] ノ (いる)		0			0		17%

#### サブカテゴリー3 個別状況の記録と計画策定

	1	リーダ	_	2— <del>1</del>	殳(参加る	あり)	(1) Ł
標準項目	そう思 う	そう思 わない	わからない	そう思 う	そう思 わない		①C ②の 差
6-3-1定められた手順に従って個別のサービス場面ごとに明示			ソトを	行い、	利用	者の課	題を
   1.利用者の心身状況や生活状況等	2	1	1	9	0	3	
を、組織が定めた統一した様式に	50%	25%	25%	75%	0%	25%	
よって記録し、把握している		Δ					25%
2.利用者一人ひとりのニーズや課	2	1	1	5	0	7	`
題を明示する手続きを定め、記録している	50%	25%	25%	42%	0%	58%	/ T
O CVIS		Δ			Δ		8%
	1	2	1	4	3	5	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
3.アセスメントの定期的見直しの 時期と手順を定めている	25%	50%	25%	33%	25%	42%	
		$\triangle$			$\triangle$	_	8%

6-3-2利用者等の希望と関係を 成している	当の意	見を即	双り入	れた個	別支	援計画	を作
	3	0	1	6	2	4	
1.計画は、利用者の希望を尊重して作成、見直しをしている	75%	0%	25%	50%	17%	33%	
		0			Δ		25%
	2	1	1	4	3	5	\ \ \ \
2.計画を利用者にわかりやすく説明し、同意を得ている	50%	25%	25%	33%	25%	42%	
<b>切し、同意を得(いる</b>		$\triangle$			$\triangle$		17%
3.計画は、見直しの時期・手順等	2	1	1	4	3	5	\ <u>\</u>
の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	50%	25%	25%	33%	25%	42%	7
して発色している		$\triangle$			$\triangle$		17%
	0	0	0	0	0	0	\ <u>\</u>
4.計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	0%	0%	0%	0%	0%	0%	7,
		$\overline{\triangle}$			$\triangle$		0%

#### サブカテゴリー3 個別状況の記録と計画策定

	①リーダー			2-1	1) と		
標準項目	そう思 う	そう思 わない		そう思 う	そう思 わない		②の 差
6-3-3利用者に関する記録が行	うわれ	、管理	里体制	を確立	なして	いる	
	4	0	0	7	1	4	
1.利用者一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	100%	0%	0%	58%	8%	33%	
		0			Δ		42%
2.計画に沿った具体的な支援内容	2	2	0	8	0	4	
と、その結果利用者の状態がどの ように推移したのかについて具体	50%	50%	0%	67%	0%	33%	/ \ \
464							
的に記録している		$\triangle$			0		17%
的に記録している 6-3-4利用者の状況等に関する	る情報	を職員	員間で	共有(	<u> </u>	いる	17%
6-3-4利用者の状況等に関する	<b>3情報</b> 2	<u>を</u> で	<b>員間で</b>	<b>共有(</b> 8	<u>O</u> として 3	いる	\
6-3-4利用者の状況等に関する 1.計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有		I			l		
6-3-4利用者の状況等に関する 1.計画の内容や個人の記録を、支	2	1	1	8	3	1	\
6-3-4利用者の状況等に関する 1.計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有 し、活用している	2	1	1	8	3	1	17%
6-3-4利用者の状況等に関する 1.計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有	2 50%	1 25%	1 25%	8 67%	3 25%	1 8%	17%

標準項目	そう思	)リーダ <b>そう</b> 思	わから	そう思	受(参加で そう思	わから	①と ②の
6-4-1個別支援計画に基づいて	<sup>う</sup> で自立	わない  生活な		<sup>う</sup> るよう	<sup>わない</sup>   支援		<sup>差</sup>
	2	1	1	6	3	3	\
1.個別支援計画に基づいて支援を行っている	50%	25%	25%	50%	25%	25%	
		Δ			Δ		0%
の利用者の特性に応じて、コミュ	3	0	1	9	1	2	\
2.利用者の特性に応じて、コミュ   ニケーションのとり方を工夫して   いる	75%	0%	25%	75%	8%	17%	7
V 10		0			0		0%
3.利用者一人ひとりがその人らし	3	0	1	7	1	4	
く生活できるよう支援を行ってい る	75%	0%	25%	58%	8%	33%	
<b>a</b>		0			$\triangle$		17%
	3	0	1	7	2	3	\ <u>\</u>
4.利用者の支援は関係職員が連携 をとって行っている	75%	0%	25%	58%	17%	25%	7
		0			$\triangle$		17%
5.介助が必要になった利用者に	4	0	0	9	2	1	
は、介護保険サービスの利用による支援の体制を整えている	100%	0%	0%	75%	17%	8%	
る文域の体制で走んでいる		0			O		25%

HT.W. 7.T. C.		リーダ			殳(参加る		1) _
標準項目	そう思 う	そう思 わない	わからない	そう思 う	そう思 わない		②の 差
6-4-2食事は、利用者の状態や	や要望	を反映	央した	サーヒ	ごスを	行って	いる
1.利用者の状態に応じた食事提供	0	0	0	0	0	Ο	
ででである。 できる	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
COLO COLO		$\triangle$			$\triangle$		0%
	4	0	0	12	0	Ο	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
2.利用者の状態や嗜好に応じて献立を工夫している	100%	0%	0%	100%	0%	0%	7
		0			0		0%
	3	0	1	11	0	1	\
3.利用者が選択できる食事を提供している	75%	0%	25%	92%	0%	8%	
		0			0		17%
4.食事時間は利用者の希望に応じ	4	0	0	10	0	2	\ <u>\</u>
イ. 民事時間は利用者の布量に帰じて、一定の時間内で延長やずらすことができる	100%	0%	0%	83%	0%	17%	7
CCN COS		0			0		17%
	3	0	1	9	0	3	\1
5.食事を楽しむ工夫をしている	75%	0%	25%	75%	0%	25%	
		O			O		0%

	1	リーダ	_	2-1	9(参加を	あり)	1) と
標準項目	そう思 う	そう思 わない	わから ない	そう思 う	そう思 わない	わから ない	① ②の 差
6-4-3入浴の支援は、利用者の	の状態	や意思	思を反	映して	行って	ている	•
1.利用者の状態や希望に応じた入	3	0	1	10	2	Ο	\
浴方法や支援(見守り・声かけを   含む)を行っている	75%	0%	25%	83%	17%	0%	/ <b>T</b> \
20/2117 CVIS		0			0		8%
2.入浴できる曜日や時間など利用	4	0	0	12	0	Ο	
者にわかりやすいように明示している	100%	0%	0%	100%	0%	0%	/ <u>_</u> `
V 10		0			0		0%
	4	0	0	9	1	2	
3.浴室や脱衣室は清潔で、快適な 状態にしている	100%	0%	0%	75%	8%	17%	
		0			O		25%

	1	リーダ	_	2-A	分(参加を	あり)	1) と
標準項目	そう思 う	そう思 わない	わからない	そう思 う	そう思 わない		① ②の 差
6-4-4利用者が主体的に健康管制を整えている	き理や	介護	予防に	取り約	即むた	めの支	援体
   1.健康管理や介護予防等に関する	0	0	0	Ο	Ο	Ο	\ <u>\</u>
利用者からの相談に応じる体制を整えている	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
差んでも		Δ			Δ		0%
2利田老の主治医が常田蒸竿につ	0	0	0	0	0	Ο	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
2.利用者の主治医や常用薬等について把握し、服薬管理は利用者の	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
状況に応じた支援を行っている		Δ			Δ		0%
	0	0	0	0	0	Ο	\ \ \ \
3.精神的なケアが必要な利用者に対して支援の体制を整えている	0%	0%	0%	0%	0%	0%	- <b>-</b> -
		Δ			Δ		0%
4.日常生活上で介護予防につなが	3	1	0	7	1	4	\ <u>\</u>
るような働きかけや工夫をしている	75%	25%	0%	58%	8%	33%	
9		0			$\triangle$		17%
5.利用者の体調変化(発作等の急	4	0	0	12	0	Ο	\ <u>\</u>
変を含む)に速やかに対応できる 体制を整えている	100%	0%	0%	100%	0%	0%	/T\
		0			0		0%
	4	0	0	9	1	2	
6.日頃から医療機関と連携を図 り、必要時には措置を講じている	100%	0%	0%	75%	8%	17%	
		0			0		25%

6-4-5日常生活では、利用者の状態や意思を反映した支援を行っている(食事・入浴以外)										
1.利用者の状態に応じて、身の回	4	0	0	9	2	1				
りのことができないときには支援 する体制がある	100%	0%	0%	75%	17%	8%				
ののことは		0			0		25%			
2.区市町村・福祉事務所等と連絡	3	0	1	7	3	2	\			
をとり、必要に応じ利用者への情報提供・手続き等の援助を行って	75%	0%	25%	58%	25%	17%	7.			
いる		0			Δ		17%			
	3	0	1	6	2	4				
3.利用者同士の人間関係を良好に保つ工夫をしている	75%	0%	25%	50%	17%	33%				
		O			$\overline{\triangle}$		25%			

	1	リーダ	_	2-1	设(参加を	あり)	①Ł
標準項目	そう思 う	そう思 わない	わから ない	そう思 う	そう思 わない		②の 差
6-4-6利用者の生活が健康でいている	明るく	なる。	<b>よう、</b>	施設の	D生活	に工夫	をし
	1	3	0	5	2	5	\1.
1.日常生活の中で楽しめる機会を設けている	25%	75%	0%	42%	17%	42%	-,-
		Δ			Δ		17%
2 佐乳内で利田者 トストルに応	2	2	0	9	1	2	
2.施設内で利用者一人ひとりに応じた役割や生きがいを見出せるよ	50%	50%	0%	75%	8%	17%	
う支援している		Δ			0		25%
3.施設での生活は、他の利用者へ	4	0	0	10	1	1	-,
の迷惑や健康面に影響を及ぼさない い範囲で、原則として自由である	100%	0%	0%	83%	8%	8%	/ \ \
		0			0		17%
	3	0	1	10	1	1	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
4.利用者が落ち着ける雰囲気づくりをしている	75%	0%	25%	83%	8%	8%	7
		0			0		8%
5.食堂やトイレなどの共用スペー	2	2	0	8	2	2	`
スは汚れたら随時清掃を行う体制 があり、安全性や快適性に留意し	50%	50%	0%	67%	17%	17%	/ T \
ている		$\triangle$			0		17%

6-4-7施設と家族との交流・過	重携を	図って	ている				
	3	0	1	9	0	3	\
1.家族との接し方について本人や家族等の意思を確認している	75%	0%	25%	75%	0%	25%	
		0			0		0%
	2	2	0	5	1	6	
2.家族等との外出・外泊・面会時   間は可能な限り希望に応じている	50%	50%	0%	42%	8%	50%	
		$\triangle$			$\triangle$		8%
	0	4	0	7	2	ന	<b>3</b>
3.家族が参加できる施設の行事を 実施している	0%	100%	0%	58%	17%	25%	J
		$\triangle$			$\triangle$		58%
	1	3	0	3	5	4	
4.利用者と家族がゆっくり話せる  ように配慮している	25%	75%	0%	25%	42%	33%	/ <u> </u> `
		$\triangle$			$\triangle$		0%
	0	0	0	0	0	0	\ <u>\</u>
5.緊急時に家族等と連絡が取れる   体制を整えている	0%	0%	0%	0%	0%	0%	/ <u> </u> `
		$\triangle$			$\triangle$		0%
	0	0	0	0	0	Ο	
6.家族からの相談に対応する体制 を整えている	0%	0%	0%	0%	0%	0%	<b>—</b> •
		$\triangle$			$\triangle$		0%

L		①リーダー		②一般(参加あり)			1) と
標準項目	そう思 う	そう思 わない	わから ない	そう思 う	そう思 わない	わから ない	②の 差
6-4-8地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている							
		0	Ο	Ο	0	Ο	
1.地域の情報を収集し、利用者の状況に応じて提供している	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
		Δ		$\triangle$			0%
	0	0	0	0	0	Ο	
2.利用者が職員以外の人と交流で  きる機会を確保している	0%	0%	0%	0%	0%	0%	/ <u>_</u> `
		$\triangle$			$\triangle$		0%
	3	0	1	7	0	5	\
3.利用者が地域のさまざまな資源を利用する機会を設けている	75%	0%	25%	58%	0%	42%	/ <b>T</b> \
		O			$\overline{\triangle}$		17%

#### サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

リノカテコリー5 ノフイハシーの保護寺個人の尊厳の尊重   ①リーダー   ②一般(参加あり)   <sub>② と</sub>							
標準項目		そう思 わない	わから		そう思 わない	わから	①と ②の 差
6-5-1利用者のプライバシー保護を徹底している							
1.利用者に関する情報(事項)を	3	0	1	9	0	3	
外部とやりとりする必要が生じた 場合には、利用者の同意を得るよ	75%	0%	25%	75%	0%	25%	
うにしている		0		0			0%
2.個人の所有物や個人宛文書の取り扱い、利用者のプライベートな	3	0	1	9	0	3	\\\
空間への出入り等、日常の支援の 中で、利用者のプライバシーに配	75%	0%	25%	75%	0%	25%	7
電した支援を行っている 電した支援を行っている				0			0%
	2	1	1	7	1	4	
3.利用者の羞恥心に配慮した支援 を行っている	50%	25%	25%	58%	8%	33%	7
	Δ			Δ			8%
6-5-2サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している							
1.日常の支援にあたっては、個人	0	0	0	0	0	Ο	
の意思を尊重している(利用者が 「ノー」と言える機会を設けてい	0%	0%	0%	0%	0%	0%	<b>/</b>
る)	$\triangle$			$\triangle$			0%
2.利用者一人ひとりの価値観や生	3	0	1	9	0	3	
活習慣に配慮した支援を行ってい	75%	0%	25%	75%	0%	25%	
る		0			0		0%

#### サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

	(1)	リーダ	_	<b>2</b> -£	设(参加る	あり)	
標準項目		1	わから		そう思 わない	わから	①と ②の 差
6-6-1手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている							組み
1.手引書(基準書、手順書、マニュ	3	0	1	7	2	3	
アル)等で、事業所が提供している サービスの基本事項や手順等を明	75%	0%	25%	58%	17%	25%	-,-
確にしている		0					17%
2.提供しているサービスが定めら	2	2	0	6	2	4	\ <u>\</u>
れた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直し	50%	50%	0%	50%	17%	33%	7
をしている	Δ			$\triangle$			0%
2 贈号け わからないことがおき	1	2	1	6	3	3	
3.職員は、わからないことが起き   た際や業務点検の手段として、日	25%	50%	25%	50%	25%	25%	
常的に手引書等を活用している		Δ			Δ		25%
6-6-2サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている							
1.提供しているサービスの基本事	3	0	1	6	3	3	
項や手順等は改変の時期や見直し の基準が定められている	75%	0%	25%	50%	25%	25%	
り出来なる。		O			$\triangle$		25%
2.提供しているサービスの基本事	0	0	4	0	0	12	
項や手順等の見直しにあたり、職 員や利用者等からの意見や提案を	0%	0%	100%	0%	0%	100%	7
反映するようにしている		Δ			Δ		0%

#### 事業所が行った前年度の取り組みにより、良くなったと思う点(リーダー層)

No.	カテゴリーア 事業所の重要課題に対する組織的な活動
1	ハラスメント防止の研修の積み重ね、チーム活動、職場の理念、哲学の繰り返し説示により、組織目標「日本一の養護老人ホームを目指そう」に向け、職員が自発的に動くようになった。
2	コロナ対応では、陽性者や発熱者が出たときに、迅速にチームワークよく動けるようになった。

#### 事業所が行った前年度の取り組みにより、良くなったと思う点(一般層)

No.	カテゴリーア 事業所の重要課題に対する組織的な活動
1	個室化によって感染拡大を防ぐことができるとともに、プライバシーの確保も できている。
2	看護師、栄養士が変わったことにより、業務がやりやすくなった。
3	夏季休暇を増やしたことにより、職場環境向上した。
4	月一の選択食をやるようになって、選ぶ楽しみが増えたように感じる。
5	少しずつ情報共有するようにしている。
6	外出などの利用者の希望アンケートなどで、希望の傾向、今後の方向性(実行に向けて)調査など良かったと思います。
7	栄養士さんの考えで選択食を毎月行っていること。利用者さんが喜んでいる。

#### 貴事業所の特に良いと思う点 (リーダー層)

No.	特に良いと思う点
1	運営に必要な研修や整備などが随時取り組まれている。
2	職員同士の情報共有が行き届いている。
3	職員同士が明るく助け合って目的達成のために働いている。
4	人手の少ない中、救急要請などの緊急事態にもコミュニケーションをとりなが ら対応していると思う。
5	利用者様や職員にとって有効と思われることは起案書を上げて承認されるとスムーズに実現に向かえること。

#### 貴事業所の特に良いと思う点 (一般層)

No.	特に良いと思う点
1	利用者と職員の間に家庭的な雰囲気がある。
2	職員間で業務の穴をうめる協力体制がある。
3	月に1回選択食があり、メニューも増えた。
4	給食業者が変わり、朝食の品数が増えた。
5	経営層は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている。
6	職員間の人間関係が良好である。
7	コロナ禍で外出ができなかった時も、とくし丸やネットスーパーを使用し、利 用者のニーズにこたえていること。

#### 貴事業所の特に改善したいと思う点 (リーダー層)

No.	特に改善したいと思う点
1	情報伝達の仕組みについて改善の余地があると感じた。
2	文書管理が不十分なので改善したい。
3	コロナの鎮静化に応じ、地域交流を復活させたい。
4	一般的にコロナ5類以降は色々と緩和されてきていますが、施設内はまだまだ閉鎖的でデイサービスは中止のまま、外出も週に1回1時間だけで、利用者様たちの不満がきかれる。筋力低下や認知症進行も懸念される。もう少し開放的にしてほしい。

#### 貴事業所の特に改善したいと思う点(一般層)

No.	特に改善したいと思う点
1	申し送りがなかなか周知できていないこと。申し送りに書いても伝わらないこ とがある。
2	利用者への情報の提供が遅れたり配慮不足となることがある。
3	効率良く業務を進めていく工夫する努力が足りない。
4	職員の育成環境。
5	職員の定着率を上げたい。
6	感染予防に重きを置く中でも利用者が楽しめる企画を増やしていきたい。
7	職務に当たり仕事の内容は決められているようですが、細かいことは個々の判断に委ねられていて、気配りできる職員とそうでない職員と差があり、人員配置は満たされていてもスムーズに仕事が流れていかないようにみえます。誰が何をいつまでに行うのかをもっと明確にした方が良いのではないかと思います。
8	近年、介護度が少し高めの人や医療面で病気がたくさんある人が多く入居されるがそれに対 応するスキルが低いこと。
9	利用者のことについて、多職種間での話し合いを行ていない。サービス向上や利用者の方向 性について。